

# ネットワークアンケート ③③

糖尿病ネットワークを通して

医療スタッフに聞きました

## Q. 貴院へ通院する糖尿病患者さんの「シックデイ」の状況を把握していますか？

風邪や下痢、外傷や手術など、糖尿病患者さんが他の病気で体調を崩すと、血糖コントロールの悪化や深刻な事態も心配されるので、上手に乗り切るための指導は大切です。今回は、「シックデイ対策」について伺いました。

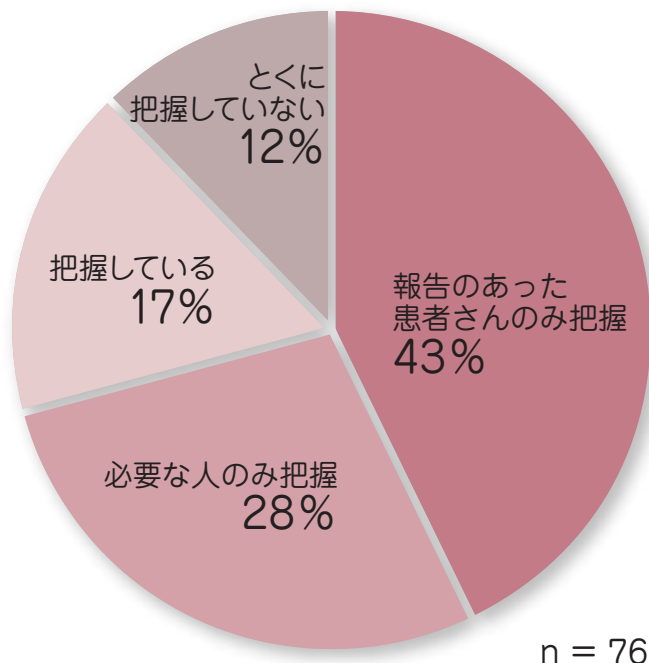
[回答数：医療スタッフ76名(医師10、看護師37、管理栄養士20、薬剤師3、臨床検査技師2など。うち日本糖尿病療養指導士35)、患者さんやその家族321名(病態/1型糖尿病120、2型糖尿病193、糖尿病境界型2、その他6、治療内容/食事療法232、運動療法189、飲み薬の服用152、インスリン療法203/重複回答有)]

約4割の「報告のあった患者さんのみ」、約3割の「必要な人のみ」との条件付きを含め、88%の医療スタッフが「把握している」との回答でした。

患者さんへの指導については、約半数が患者さん全員が対象と答えたものの、治療法などによって指導状況が異なるようです。指導内容では、「自己判断でインスリン注射を中断してはならない」、「食欲がないときの食事のとりかた」、「主治医への連絡や医療機関受診のタイミング」について、約9割の医療スタッフが指導しているとのこと。シックデイ時の対処として医療機関受診のタイミングは、「食事や水分がほとんどとれない時」が92%、「下痢や嘔吐が激し

い時」が86%、「高血糖(350mg/dL以上)が続く時」が76%と続きました。さらに、治療薬の増減方法の指導については、約4割がとくに指導を行っておらず、インスリン療法患者さんに対しても指示書等を作成しているのは1割程度とのことでした。

また、シックデイ時、自分の状態を把握するためにチェックすべき項目として、92%が血糖、71%が食事内容や量、68%が吐き気や嘔吐の有無が最も多く、最優



先事項と捉えられているようです。

自由記述では、「過剰にシックデイルールを指導することは、患者さんの不安を強めたり、不必要な服薬中止につながる恐れがある」、「シックデイについて知りたいとの要望は多いが、なかなか真正面から取り上げられないできた」などの意見がありました。

### Q. どのような患者さんに説明・指導を行っていますか？

(複数回答可 n=76)

|                 |     |
|-----------------|-----|
| 基本的に全員          | 46% |
| インスリン療法患者さん     | 46% |
| 高齢の患者さん         | 24% |
| 経口薬療法の患者さん      | 21% |
| 小児の患者さん         | 4%  |
| 妊娠中の患者さん        | 4%  |
| とくに説明・指導を行っていない | 1%  |
| その他             | 13% |

### Q. 「シックデイ」時の対処法として、どのようなことを指導していますか？

(複数回答可 n=76)

|                        |     |
|------------------------|-----|
| 自己判断でインスリン注射を中断してはならない | 91% |
| 食欲がないときの食事のとりかた        | 91% |
| 主治医への連絡や医療機関受診のタイミング   | 86% |
| 水分のとりかた                | 84% |
| 治療薬の調節のしかた             | 62% |
| 温かく、安静にしていること          | 42% |
| 必要な検査を行い病状を把握する        | 41% |
| その他                    | 4%  |

### Q. 「シックデイ」の時にチェックするよう指導する項目は？

(複数回答可 n=76)

|           |     |
|-----------|-----|
| 血糖        | 92% |
| 食事内容や量    | 71% |
| 吐き気や嘔吐の有無 | 68% |
| 体温        | 62% |
| 水分の摂取量    | 55% |
| 排尿の回数や量   | 28% |
| 尿ケトン体     | 9%  |
| 尿糖        | 7%  |
| 心拍数       | 5%  |
| その他       | 3%  |